



小松市立学校PTA連合会
会長 中井 泰孝

『コロナ禍に必要な更なる家庭教育の向上』

日頃より、皆様方にはPTA活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響があり、また春先には学校が休校となり、子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆様も大変な一年になったのではないかと思います。当たり前に行っていた卒業式や入学式、修学旅行や運動会などの学校行事が縮小や中止になり、子どもたちにとっては重要で思い出になる行事が当たり前のように出来なかったことは、本当に残念でなりません。またPTA連合会はもちろんのこと各学校のPTA活動も思う様に活動が出来ず、保護者の皆様が子どもたちの健全な育成に関われなかったのではないかと思います。

今までのようにみんなが集まって行うような活動が思う様に出来ないコロナ禍の中において、子どもたちや保護者の皆様も家庭にいる時間が長くなり、子どもたちと向き合う時間が増えたのではないかと思います。そのときに一番重要になるのは家庭教育なのではないでしょうか。PTA連合会としても保護者の皆さんが子どもたちの健全な心の育成に少しでも関わられるような情報などより多くの皆様へ家庭教育の学びを促すとともに、これからも学校や地域も含めた学びをPTA連合会の活動を通じ、日頃から学んで頂くきっかけになるような活動が出来ればと思います。子どもの健全な心の育成に最も必要なのは、保護者が子どもたちに正しい道しるべを家庭内で示してあげることが重要だと考えます。

最後になりますが、本年度をもちまして小松市立学校PTA連合会の会長の任期を終えることとなります。この2年間「夢を持てる環境と子どもたちの輝く未来のために」～家庭と学校・地域で育てる教育環境を～をスローガンに掲げ、家庭教育を中心により多くの皆様への学びを促してまいりました。更にはPTA連合会の活動を通じ、学校や地域も含めた取り組みを学んで頂くきっかけになればいいと思います。活動してまいりました。

これからは自らが生活習慣を整え、学び、子どものお手本となるような大人になれるよう、責任感をもって私たちの活動を通じてより多くの保護者に理解を促すとともに、学校や地域と連携して子どもたちの健やかな成長と心豊かな子どもたちを育みたいと思います。

本会の活動に対しご支援、ご協力を頂いた皆様に心より感謝を申し上げます。



小松市立学校PTA連合会
顧問 岡田 直樹

『PTAに関わって』

PTAに関わるようになったのは、平成25年度小学校のPTA会長になったのが始まりでした。同時に当時小松市立学校PTA連合会（以下市P連）齋藤浩会長から依頼され、市P連の特別委員会委員長（現未来の宝育成委員会）になりました。以前より尊敬する方からのお願いでしたので何の躊躇もなく引き受け、「PTAとは」ということを教わっていかうと考えました。

今まで仕事や他のボランティアなどで自分の子どもたちにも関わることが少なく、見つめ直し行動していく【キッカケ】となりました。1年、2年と活動をしていくことにより、子どもへの向き合い方やいろいろな考え方、何より共有できる場をいただいたことに自分自身の幅が広がったと感じました。

平成27年度に市P連会長をさせていただいた時、東海北陸大会が小松の地で開催されました。齋藤さんが実行委員長となり大会成功へ向けて、小松市単P会長や市P連役員理事、県P連役員と元会長が喧々譁々されていることを、当時市P連会長として共に汗を流し、関わった全員と共感できたことは、PTAとしてやるべき目的を鮮明にさせていただきました。

保護者への役割、学校との共存、教育委員会との関係などの問題を明確に打ち出していかなければ、今後の市P連の存在意義が問われてくるのではないかと感じ仲間と共に改革に取り組み、新たな1歩を踏み出せたと思います。

最後に会長就任当初から『すべては子どもたちのために』をキャッチフレーズに事業や運営を行ってききましたが、関係者一人ひとりの協力により子どもたちの健全な育成の一助を築けたことに感謝申し上げます。8年間の市P連の活動を終えたいと思います。

